

いずもぎき

議会だより

第92号

2016 平成28年7月21日



6月定例会

もくじ

6月定例会	2
補正予算質疑	3
全員協議会	4
一般質問(3人が町政をたず)	5
視察研修報告・議会の動き	8
議会モニター意見交換会	9
町民の声(入団のメリット)	10

町公共施設に無線LAN設置 災害時非常用物資追加

6月定例会で決まった補正予算

平成27年度補正予算

(△は減額)

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第8号) (専決)	△780万円	41億7924万円

一般会計補正予算 (第8号)

主な歳入

- ・地方交付税特別分追加 ……6969万円
- ・地方消費税交付金追加 ……1936万円
- ・基金繰入金 ……△1億 363万円

主な歳出

- ・道路維持費 (車両修繕、除雪委託料) ……△460万円
- ・戸籍住民基本台帳費 ……△112万円

平成28年度補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額	
一 般 会 計 (第1号) (専決)	8万円	33億1008万円	
一 般 会 計 (第2号)	3399万円	33億4407万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第1号)	△211万円	6億2988万円
	介護保険事業 (第1号)	△252万円	6億7048万円
	簡易水道事業 (第1号)	△1831万円	1億6908万円
	農業集落排水事業 (第1号)	14万円	1億1284万円
	下水道事業 (第1号)	△ 236万円	1億8013万円
	住宅用地造成事業 (第1号)	307万円	5207万円

一般会計補正予算 (第2号)

主な歳入

- ・道路橋りょう整備事業債追加 ……1710万円
- ・臨時福祉給付金給付事業費補助金 ……857万円

主な歳出

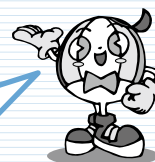
- ※1 臨時福祉給付金 ……330万円
- ※2 障害・遺族年金受給者向け給付金 ……225万円
- ・災害時非常用物資追加 ……145万円

教えて 定 例 会



※1 「臨時福祉給付金」と
※2 「障害・遺族年金受給者
向け給付金」って何？

臨時福祉給付金は住民税が非課税の方に3千円を
給付するもの
障害・遺族年金受給者向け給付金は障害基礎年金
または遺族基礎年金を受給している方に3万円を給
付するものだよ



ここが聞きたい!!

6月13日

補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

総務課長 降雪時の除雪機の移動が難しい。消防分遣所は役場に近く活用している。

生ゴミ処理機廃棄手数料

4万円

中川議員 小学校で生ごみを堆肥にするため導入したが、いつから使っていないのか。10年で使わなくなるのであれば当初から購入の必要はなかったと思う。

教育課長 平成12年購入し

平成23年機械の老朽化と、臭いの問題、またメンテナンスに支障があり停止した。中学校も平成23年まで使用していた。

町民プール休憩所 建替工事

46万円

高桑議員 今の場所は、幼児プールに近くていいが、

25メートルプールには目が届きにくい。安全面から対策が必要ではないか。

教育課長 パラソルや監視

員、配置場所等を十分に考えていきたい。

えていく。

青年就農支援事業 補助金

150万円

三輪議員 補助を受けたが、続けられなくなった場合、何か規定はあるのか。

産業観光課長 特別な規定はない。

農業機械施設整備 事業補助

224万円

中野議員 金額の少ないものは、過疎債を使わず、一般財源を使わないのか。

総務課長 金額の大小関係なく、充当でできるものはしていきたい。

水道配管敷設整備 費減

▲1825万円

仙海議員 配管工事を縮小しても、いずれやらなければならぬ対応は。

建設課長 人口が減り水の需要も減っているが、駅前周辺は増えている。事業費の効率を考えて計画を立てていきたい。

可決した条例改正など(主なもの)

◇町税条例等の一部改正 (専決)

平成28年の地方税制改正によるもの

- ・法人税割の税率引き下げ、固定資産税の課税標準特例の追加、軽自動車税の税率等の改正。

◇町国民健康保険税条例の一部改正 (専決)

平成28年の地方税制改正によるもの

- ・課税限度額の引き上げと、低所得者に対し保険税の軽減をするための措置。

◇「平成19年新潟県中越沖地震」に係る町復興支援基金条例を廃止する条例制定 (専決)

- ・対象事業への基金からの充当が完了したため、平成28年3月31日をもって、基金条例を廃止。

◇町特別職の職員で非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- ・有害鳥獣の駆除に町鳥獣被害対策隊を組織し、隊員の年額報酬を2,000円と定める。

◇町奨学金貸与基金の設置、管理及び運営に関する条例の一部改正

- ・「教育奨学金の充実」で100万円の寄附があり、奨学金貸与基金を9,200万円から9,300万円に改正。

請願

請願第1号

川西地域の農業振興に関する請願書

結果

継続審査とする。

全員協議会

主なものうちから抜粋して掲載しています

第4回 6月20日

●旧尼瀬グラウンドの 太陽光・風力発電

総務課長 旧尼瀬グラウ

ンドの町有地部分については、土地を貸し付け、既に太陽光発電の売電を開始している。隣接の国有地について、町が一体として自然エネルギーの整備の場と位置づけられ、町に貸し付けても良いと話が進んでいる。町としては、土地の利用料をいただく。

予定していた小型の風力発電は、風量から対応出来ないという理由で撤退となった。20メートル程の中型のもので今あたっている。

中川議員 隣接するひらめ養殖場跡地はどうするのか。

町長

県の水産課、国

の水産庁にお願いしている。理解は得られているが、補助金の関係等の問題がある。有効に活用すべきと考えている。

●「まるごとオーナー制度」にたくさんの 応募をいただく

産業観光課長

59件の応募があり、抽選で20組を決めた。美食ララー、翌日に梅の収穫ということ、既にご案内している。

中川議員 町の良いPRになるが、20組ではインパクトが無い。木の手入れに一般のサポートを考える等、数を増やせないか。

町長

梅の木の本数などに限りがある。梅組合の皆さんが技術的な指導をしているが、参加する人を増やす必要はある。



まるごとオーナー制度

梅を主体としながらも、梅の木にこだわらず創意工夫をして、幅を広げることを検討したい。

●児童クラブ移設に 伴い駐車場対策は どうか

高桑議員

出雲崎小学校体育館に移設されると、送迎時、車の乗り入れに不安がある。幼児を連れてこられるケースも多い。安全のための対策をどう考えているか。

保健福祉課長

冬期間や夜間の照明、教職員の駐車等について、教育委員会、小学校と協議した中で安全で効率的な方法を検討していきたい。

●町としても環境に 優しい電気自動車の 購入を

加藤議員

天領の里に充電設備が出来たことを機に教育的効果も考え、町として購入してはどうか。また、購入者に助成をする考えはないか。

町長

検討する。

●長岡圏と共通の ゴミ袋に

三輪議員

出雲崎町のゴミ袋は枚数からみてもコスト高と思われる、バーコードもついていない。搬入は長岡圏なので、共通のものにできないか。

町民課長

長岡市の担当とも相談しながら、経費

等を調べて検討したい。

●展望坂拡張について 現在の状況は

中野議員

県の予算もついていたが、今後、どのような計画か。

建設課長

道路拡張にかかる土地の所有者に、地元不在で相続がされておらず、相続関係者が何十人にも膨んで土地の取得が難しい状況が発生している。それを含めて、地元石井町の皆さんには今年度の工事の説明をさせていただきます。

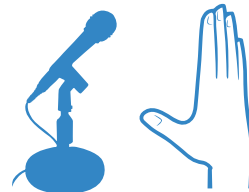


改修が待たれる展望坂

どうする 子どもたちの安全対策

町長 万全を期す

お尋ねします
お答えします



仙海 直樹 議員

仙海 町では、小・中学生の登下校時の安全確保について、どのような対策を講じているか。

町長 スクールガードボランティアの配置や、登校班ごとの先生による安全指導、自転車安全教室の実施等。防犯面では警察から不審者等の連絡が入った際は、保護者に対してメール配信を行ったり、町内30箇所の子ども110番の家を設置したりしている。

キケン箇所には

仙海 小学校の通学路やキケン箇所には、PTA等が立て看板を設置しているが当町には無い。PTAと連携をして設置するべきではないか。

町長 子どもたちの安全を守る事は町の責任であり要望があれば町がやる。PTAに負担を掛ける事は無い。

通学路の整備は

仙海 柏崎信用金庫出雲崎支店付近の道路は路肩が狭い。路側帯にグリーンベルトを設置し、歩行者の安全確保に努めるべきと考えるが。

町長 今後行われる舗装工事に合わせ、関係機関にグリーンベルトの設置を要望していく。

地域全体で 消防団を応援

町長 事業所の協力不可欠

入団を行っている。OBだけの隊の編成については消防団の意見を聞きながら検討を行う。

仙海 消防団員を支援する意味で、町内店舗などで特典が受けられる消防団サポート事業を行う考えはないか。

町長 町として趣旨は賛同するが、事業所や商工業者の協力が不可欠であり、町として事業所・商工会等と検討を行う必要がある。

OBの活用を

仙海 消防団を退団したOBによる消防隊を編成し町民の安全確保に努めるべきではないか。

町長 現在は特別団員として退団したOBの再



消防団演習

熊本地震から 学んだ事について



宮下 孝幸 議員

町長

再点検の徹底、 啓蒙活動に全力をあげる

町指定の避難施設は

【町長】町の指定避難施設は、何力所あり、何名の収容が可能なのか。

【町長】天領の里、妻入り会館、中公など15カ所指定をしている。

収容人員は、最大で2,864人で、計算上では大震災にも収まると思われるが、想定外の災害に対して、柔軟に対応出来る備えは必要だと思ふ。

駐車場や空き地は

【町長】被災者が車中泊やテント泊の場合、当町の空地や駐車スペースは何処で、どれくらいの数が可能なのか。

【町長】官地・民地を含め7,500㎡であり、750台程度の駐車が可能と思われる。

テント泊は防犯上などの問題もあるので、民間の作業小屋、あるいは地域集落センター等の耐震点検をし、避難時に活用する事も検討していき

い。

仮設トイレの配備は

【町長】避難生活には、水・食糧の他、仮設トイレが必須だと思う。災害時の仮設トイレの配備を民間業者と、どのように取決めていくか。

【町長】アクテイオやコメリと災害時の協定を結んでいる。

その他、町として携帯トイレと簡易トイレ300個を備えている。今後も確実な履行がなされるよう、常在の確認を業者としていく。

避難施設の室内環境は

【町長】季節により、避難所内の生活環境の劣悪化が懸念される。涼・暖を得る為の、補助器具の準備ほどの程度であるか伺う。

【町長】指定避難所15カ所全てに暖房は整っているが、冷房に関しては12カ所。夏場より問題は冬場だ

と思う。毛布等の備えは十分だが、更に町民に善意の寄付もお願いしてみたいと思うし、民の不足は官でしっかりと補っていく。

公共施設が被災した時

【町長】熊本地震では、新耐震基準を満たした建物の倒壊がみられる。

今回の震災から学んだ事は「想定外を想定内に」する事だと思う。

当町の公共施設などがその様な事態に至った時、どのような対策が考えられるか伺う。

【町長】町の施設は全て耐震改修を終えている。しかし、熊本の被害も承知しているので、更に徹底した再点検を指示した。

万一役場が被災した場合、中公などの代替策等が考えられるが、まずは再点検により被災対象とならないよう、万全を尽くしていく事が重要だと考える。

防災組織の実働訓練を

【町長】被災直後、真つ先に避難誘導や被災者救済に力を発揮したのは、国や県ではなく地域の人々であった。

この教訓から、当町が組織する、地区防災組織の実働的避難訓練の必要性を強く感じるが、ご意見を伺う。

【町長】全地域において、自主防災組織が結成されているし、避難訓練では、要支援者を高台まで運ぶなどの積極的訓練も実例がある。

しかし今後更に、地域の中に入り、防災意識の高揚を即す啓蒙活動に全力を挙げる。



耐震改修済み役場庁舎



三輪 正 議員

災害に強い町づくりについて

町長

防災・減災に 全力で取り組む

自主防災組織の 現状と支援は

三輪 組織率と活動内容、支援をどう考えるか伺う。

町長 100%結成されている。27年度は消火器の取扱い訓練など自主的に実施している。発電機、ヘルメット、担架等を購入し地域で備えている。購入時の補助などの説明を、自主防災組織に向いて説明会を開催している。

防災士との連携は

三輪 防災士の現況と活動に期待することについて伺う。

町長 町全体で防災士は現在20名。町防災士会は27年6月に設立され、会員は男性7名、女性1名。防災士の資格取得に補助を行っている。防災士の皆さんは、中学生に

よる避難所運営訓練、普通救命講習会など活動は増えており、あらゆる災害時にリーダー的な役割が期待されている。

広域市町村災害時 相互応援協定の現状は

三輪 姉妹町村の柳津町ほか全国の市町村と協定を結んでいる。県内の市町村との協定も必要と考えるが。

町長 災害発生時には近隣市町村とは密接な連携を保っている。あらゆる面でお互い協力が必要と思っている。協定を結ばなくとも十分対応できると考えている。

民間との協定を

三輪 火災時のため池や断水時の井戸の使用など、民間と事前に使用協定を結ぶかどうか。

町長 災害等の緊急時

には協定を結ばなくとも緊急に要請をしていく。相互扶助の気持ちが必要であり、災害を最小限度にすることは当然。



津波避難訓練（点検）

避難所の運営体制は

三輪 指定避難施設は管理運営を指定管理者が行っている施設が多い。常駐している皆さんの連携が必要と思うが、体制は万全か。

町長 例えば備蓄倉庫に何が入っているか明確にする。また職員の3分

の1の21名が中越沖地震後の採用であり、災害時の対応、役割について考えるよう指導している。
総務課長 優先開設避難所脇に備蓄倉庫を用意している改善センターより指摘があったので、何が備蓄されているか管理人と話をしている。毛布を補完するアルミシート等食糧以外にも用意しており、一覧として出すこともできる。

要援護者避難について

三輪 名簿の共有、支援体制について伺う。

町長 要支援者は47集落126名でしっかり把握して名簿を地域、消防、警察と共有し対応している。支援者は7割程度が決まっている。今後とも万全の対応をしていく。

こんな意見
いただきました

議会モニターとの意見交換

議会の流れ

分かりやすく

Aモニター

議会の流れが分かりにくい。常任委員会や特別委員会もあるが傍聴しにくい。聞きやすくしてほしい。一般質問では町長の答弁に対してそれで終わってしまっているように感じる。事前調査があまり行われていないのではないか。



発言が

少ないのでは

Cモニター

発言が少ないように感じる。議題は事前に決まっている訳なので自分の専門外のものでも、発言を増やししっかりとした審議を行ってほしい。人口減少に伴い議員定数を削減したのでやりづらくなっている気がする。

一般質問者が

少ないのでは

Bモニター

一般質問をする議員が少ない。また、質問でも力強さを感じられない。防災行政無線で議会の告知を行っているが、質問を行う議員の名前も加えてはどうか。

全員協議会のPR

Dモニター

一般質問では町長がベテランのせいと言い包められて内容が乏しい。一方、全員協議会は身近な内容の話が出るので内容が分かりやすい。多くの方に聞いてほしいので、全員協議会のPRを行ってはどうか。

以前、町の問題を議員に話したところ、そういうものだと言われたことがある。気軽に話ができるような所で、地域に出ている話をもっと聞く等、町民の声を聞く機会を設けてはどうか。子育て支援住宅を増やす施策をしても職場が無いと若者は帰ってこない。議会でも職場に関する話が出ないことが気になった。



結論が

見えないことも

Eモニター

一般質問では結論が出ないまま終わることがあるが、それで終わりなのか。海岸の展望坂を歩いていると外灯が少なく真つ暗で手すりにつかまりながら歩いているので危険に感じる。





「自分達の住む町だから自分達の手で守る」消防団員募集のポスターで見かけるフレーズです。

なるほど立派な精神ですが、現代人には時間的、精神的な余裕がありません。入団10年、私が考える消防団のメリットは「出会い」です。まず、部の仲間達。そもそも

もは家が近所というだけの不思議な縁。学生時代の友人や、職場の同僚とも異なる、年齢もばらばらのメンバーですが、町や仕事の事を語らい、冗談も言える関係を築けたのは、活動や練習で育んだ絆の賜物です。

また、部以外にも団員の知り合いが増えること。これは

後に、例えば子供の学校行事等で随分と助けになります。

そして、大演習。休日にもかかわらず約170名の団員が一堂に会する姿。そこに加わると「共に町を支えていく担い手」として高揚するものがあります。

正直、私は強い使命感を持って入団したわけではありません。それでも、ここで出会えた仲間達や活動を通じて、この町をもっと好きになった今は、冒頭のフレーズにも違和感がなくなりました。いいものですよ、消防団。

町民の声

「入団のメリット」

大寺 服部 政宏



表紙の小話



消防大演習が6月19日、暑い中、出雲崎中学校グラウンドにおいて挙行されました。

人員、姿勢、服装の点検、機械器具の点検、小隊訓練、ポンプ操法と日頃の訓練の成果が披露されました。毎晩、仕事の終了後に疲れた体を使つての訓練は、さぞ大変な事だったと思います。

放水演習は立石の用水池を使用して山林への放水を実施しました。最後は全団員、車両参加による分列行進が力強く行われました。

今年には重大火災が発生しました。火災予防に消火活動にと、消防団の役割はますます期待されます。

(三輪 正)

編集後記

熊本地方を襲った震度7の大きな地震で多くの家屋が倒壊し、行方不明者や多数の方が亡くなられ、さらに追い打ちをかけるように、集中豪雨による土砂災害が発生し、被害が拡大しました。被災した方々が一刻も早く普通の生活に戻れますようお祈り申し上げます。

本議会的一般質問では、地震等災害に対し、町の防災体制の確認や見直しの質問があり、災害時の避難施設は何処か、要支援者の避難体制は万全か等々熊本地震から考えさせられる質問が多く出ました。

日本中いつでも起こり得る地震や、津波や土砂災害に備え、日ごろから避難場所や避難経路を家族で話し合い、避難訓練、地震対応訓練で正しい知識をもって、常にコミュニケーションを取って災害から身を守っていかなければならないと思っております。

(加藤修三)

議会報特別委員会

- 委員長 高桑佳子
- 副委員長 加藤修三
- 委員 仙海直樹
- 委員 三輪 正